問い合わせ先
第九管区海上保安本部海洋情報部
海洋調査課長 山内 明彦
電話(025)245-0118 内線 2530

平成２３年６月３０日
第九管区海上保安本部

角田浜付近の離岸流調査結果について

＊海浜域・河口域の事故根絶を目指して＊

第九管区海上保安本部では、管内の海浜域・河口域での水難事故を未然に防ぐため、６月２１日～２２日に、着色剤及び漂流ブイを使用した離岸流の調査を実施しました。
本日は、その結果を公表します。
離岸流調査のほか、機動救難士による離岸流体験調査についても実施しました。

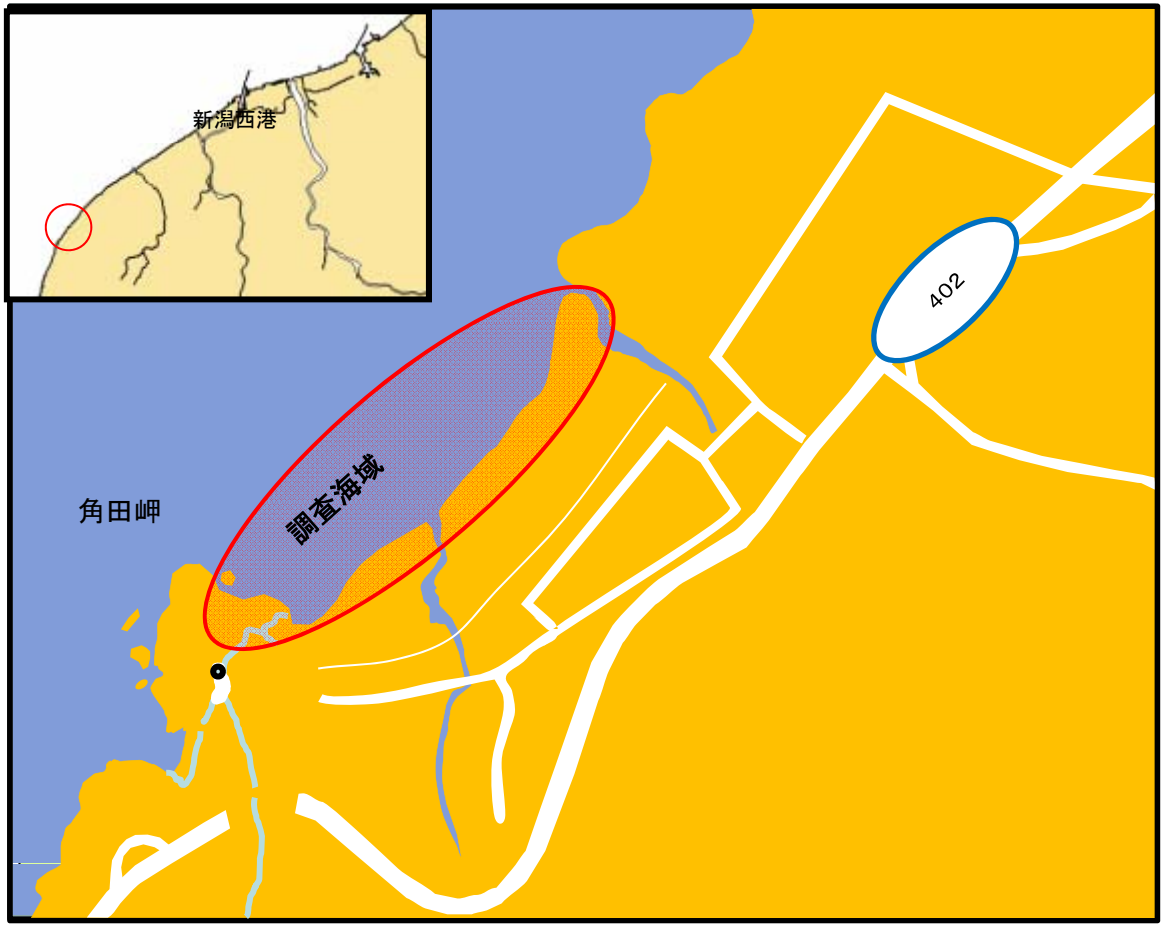
調査結果

１　離岸流調査
海水浴場の3箇所で沖合に向かう流れ（離岸流）が観測されました（資料1、2参照）。

２　機動救難士による離岸流体験調査
新潟航空基地機動救難士による離岸流体験を実施し、危険性及び回避方法の評価等を行いました（資料3参照）。

※　詳細につきましては、平成23年6月27日から第九管区海上保安本部海洋情報部ホームページに掲載しておりますので覧下さい。
URL　http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN9/index.html
離岸流　→　最近の離岸流調査又は過去の離岸流調査　→　離岸流・海況調査結果
・　角田浜海水浴場付近の離岸流調査結果

調査海域　角田浜海水浴場付近



着色剤（シーマーカー）

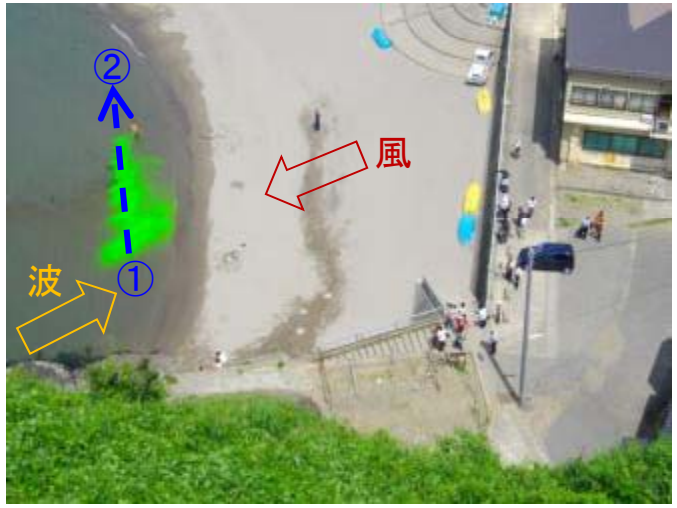
漂流ブイ（DGPS機能付）

資料1

離岸流確認場所（平成23年6月22日）

資料2

角田浜海水浴場付近の着色剤による観測状況（離岸流発生場所③）



1．着色剤散布直後
着色剤を①から②へ散布しました
波は約0.5m　海岸での風は約2m/sec

2．着色剤散布から約10分後
ゆっくりと30m程沖合いに流れました

3．着色剤散布から約16分後
やや速度を増し60m程沖合いに流れました

4．着色剤散布から約18分後
70m程沖合いの潮目で流れは止まりました

機動救難士による離岸流体験調査（漂流及び離脱実験）

機動救難士

弱い離岸流を観測

角田浜海水浴場の状況

波高約0.5m、海岸での風は約2m/secと比較的穏やかな状況で、離岸流の流速は約0.06m/s程度のゆっくりとした流れでした（赤実線）。

（体験者の感想）

弱い流れのため、岸を見ると流されていることに気が付くが、特段の注意を払わなければ、流されていることに気がつかない。

（考察）

穏やかな状況でも、離岸流は発生します。

弱い流れでは、遊びなどに夢中になっていると、気が付かないうちに流されていることもあるので、注意が必要です。

波の高さや波の向きによって離岸流の速さや発生場所が変化します。

離岸流は、気象・海象が変化すると同じ場所でも異なる流れとなりますので注意が必要です。